



第五卷 第六号

発行所 方城村公民館  
編集所 荒木良和  
印刷所 有限会社日講印刷  
小竹町 (旧西尾印刷有限会社)

◇原稿募集◇

- 一、論文随筆創作文芸評論何でも建設的なもの(取捨は編集部に一任)
- 二、詩歌俳句川柳一人二首二句
- 三、投稿締切 毎月五日
- 四、投稿先 方城村公民館

農村文化と生活改善

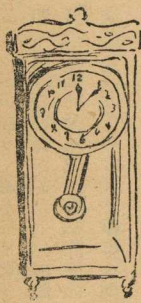
副館長 高津久雄

筆者は先頃、福岡市、長崎市及熊本市を旅行するの機会を持つことが出来た。之等の戦災都市の著しい復興振りに眼を見張ったのであるが、それにも増して旅行者の多いことに一驚した。次に驚かされたことは旅行者の服装や態度や其の行動が非常によくなつて来たことだ。日本の文化は都市文化だと言われるのも故なしの感があった。新しい事を好まない農村人には農村文化の問題が、まだく、他所事の如く遠慮いことに考えられているように見受けられてならぬ。人間は、物が腹一杯食べられる生活が出来れば、それに越したことはないではないかと、云うことで満足が出来れば、それは余りにも哀れな低級な現代なれのか考え方だと云はねばならぬ。

の向上に努めたり、子供をして大学教育を修めしめることを以て業したり、一家の団欒や家族旅行に人間生き甲斐を感じる生活が、農村人にもあつてもよいのではなからうか?、知識の取獲よりも、教養を目的とする会合に出席することよりも、一日の野良仕事をより大切に考える所に農村の進歩を阻む原因があるのではなからうか?農村に何故文化の取入れが必要であつたり、生活を改善したりしなければならぬのか米国の農家は日本の農家の一〇倍も五〇倍もの広大な耕地や家畜を持っていても、家族だけで立派に仕事を片付けて、日曜日には休む余裕さへもつと云うのに引代え、日本の農家はどうか、僅か一町足らずの耕地の為に追い使われて寸暇もなく、貧乏世帯に終始している現状ではないかそれは考え方が根本的に違ふからだと云うの外はないのだ。米国の農家は体力が第一の資産だと考えている従つて平素に於て充分の栄養を執り

衛生に力め、立派な体格で三人前の仕事をし、時間を大切に頭を使ひ、仕事の能率を高めることに心掛ける、又蓄力や機械を利用し設備を整えて仕事が沢山出来るようにしているという。日本の農家が、まづいものを食べ、悪い体格で機械も畜力も余り使はず苦勞して、仕事の能率を上げる工夫もせず、時間を無駄にして、きまりのない生活を送っている現状を目撃するとき、誰れでもが考えることだと思ふが、此の状態を改善して行かぬ限り悲惨なる溜息の連続する生活があつても、明い幸福な生活は望み得まいと……

可した、然し先立つものは金ではないか、現在の様に農産物の価格が安くては何んとも為す術がないではないか、との意見も出ようが、政府当局の多大の期待と地主層の骨をけずる悲惨なる犠牲に於て断行された、農地の開放問題はどうか?実施後四、五年を経過し、そろそろ自作農としての実績が期待されようかとする今日此頃、折角手に入れた土地をぼつ／＼売に出すものが出来たと云うことである。之は一つの例に過ぎないが、真に農村復興の為に、或は農民の為を考えて精神を打ち込んで此の仕事の完遂に努力した人があつたとしたら、此の一事に直面したせつな、必ずや切齒して農民の不甲斐なさに、滂沱たる悲憤の涙にむせぶことである。自分の生活は自分の責任に於て篤と考えるべきものである。



道路政策の一考察について

悪道生

道路は文化の尺度である。といわれはるが、これは原始的な道路から、近代の進歩した道路に至るまでの構造上の各段階と道路普及の程度如何を標準とした場合の概念にすぎないと思う。即ち人間社会の進歩発達につれて道路の本質にも変化があつたのは当然である。道路が個人近路にすぎない時代には、危険なく近道が出来たらそれで良かったので、極めて原始的で自然発生のとも見べき道路で事は足りたのである。古代、上代にあつては、街道にしても駅制にしても、当年の官吏が中央政府の所在地とその勢力範囲であつた地方とを往復するだけであつた。当時の道路としては、この目的にそえは事は足り、安全で且つ近かければ、それで良い筈であつた。我が国に於ては、中世より道路が発達して来た。徳川時代には道路も相当整備された。しかし、その本質は

単に軍事上の要求をみたしたのみである。更に家康は百個条をしいたその中に、天下の道路は自他共にその幅員は、大海道六間、小海道三間、横道馬道二間、歩道一間、作道三尺等と規定してあると云われている。そして道路政策は一段と統一の傾向をおびて来た。

項首の道路の本質という言葉が、もし道路工法上から見たものと誤解される様であれば、道路施設としてもよい。たとえて云えば、こゝでいう道路の本質とは相はなれた部落と部落とを結ぶ道路の持つ性格である。現代道路のこの意味に於ける本質は相当複雑である。

現在及び将来のための道路として、適切たしめるためには、唯単に政治、経済という分派目的のだけではなく、地方計画、都市計画と関連して有機的連絡を保つて、はじめてその道路の本質が十分に機能を發揮できる。(以下次号つゞく)

ブックガイド

- 五月中入荷新刊書
- 著者 トインビー 書名 試練に立つ文
  - 小原国芳 玉川児童百科大
  - 辞典十四卷
  - 平凡社 世界歴史事典九
  - 毎日新聞社 毎日新聞縮刷
  - 松原繁樹 版三月号
  - 藤園芸ハンドブ
  - 福土貞吉 植物バイラス
  - 鈴木元助 農業英語ボク
  - 朝倉書店 野菜品種解説

ブックルーム

友の会新登録者	被讀書冊数	閲覧者数
学生	5	63
生徒	4	51
一般	4	19
計	26	3
	7	14
	3	13
	7	3
	5	11
	1	20
開館日数 24日	216	計 197
	計 288	